

# やまゆり

学校だより

令和5年8月31日  
37号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「確かな学力の育成」・「豊かな心の育成」

大月警察署管内中学生防犯弁論大会で「<sup>しゅうた</sup>脩大さん」が最優秀賞を受賞しました

8月30日(水)に大月警察署で、「第16回 大月警察署管内中学生防犯弁論大会」が行われ、本校代表の二年生、「渡辺脩大」さんが最優秀賞(1位)を頂きました。題名は「心を繋ぐ言葉遣い」で、「日常の友人関係における言葉遣いの体験をみつめ、そこから考えたことを主張しました」。具体的には、「人に配慮した言葉遣いを心掛け、言葉が持つ力を信じて励まし、勇気づける言葉遣いで友人との心と心を繋いでいきたい」という内容です。主張の内容やその内容を伝える表現力を高く評価されました。

8月19日(土)に行われた「少年の主張山梨大会」での山本千莉<sup>せんり</sup>さんの優秀賞に続き、全校28名の小規模校でも優秀な成績を連続して収めることができました。

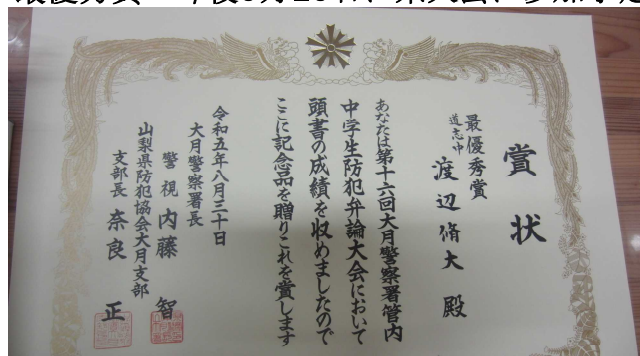
小規模校の生徒は、一般的に表現力が低い傾向があります。そこで、日常の学習指導でも全教科で「単元を貫く課題解決学習」で各自が自分の思いを表現し交流して学ぶ指導をしています。また、総合的な学習でも各自の課題設定を追求し表現することに力を入れています。本人の才能や努力と合わせて、持てる力を十分に発揮出来たことを喜びたいと思います。

生成AI時代に、より豊かな人間の生活を「創造」して提案できる真の学力を、今後も向上させたいと思います。おめでとうございます。

脩大さん



最優秀賞 今後9月29日に県大会に参加予定



「楯」も頂きました



教育重点目標 「 健やかな身体の育成 」(危険を予測し、自ら回避する生徒の育成)

## 関東大震災から100年 防災に備える

今から100年前の1923年(大正12年)の9月1日に、「関東大震災」が発生しました。死者行方不明者10万5千人の大惨事でした。

関東大震災が国内の災害史上最悪の犠牲を出した要因は「火災」でした。消失家屋16万6千棟に及び、死者・行方不明者の87%にあたる9万1千人が火災に巻き込まれました。1995年の阪神淡路大震災でも、死者の10%は火災の犠牲になったとみられています。

関東大震災の火災は、午前11時58分の昼食準備中の炎が火災の主な原因であり、密集した木造建築が大火災に拍車をかけました。一方、阪神淡路大震災では停電後に電気が復旧し、被災した家屋から「通電火災」が起こったと言われます。東京や関西地方では、今も木造家屋の密集地があり、その不安は今でも解消されていない実態があります。

M7クラスの「首都直下地震」が、今後30年以内に70%の確立で発生すると言われていています。道志村では、火災の他に建物の倒壊や大規模な土砂崩れ、道志川の氾濫も想定されます。また、単一の災害ではなく複合的な災害も想定されます。対応としてまず重要なのは、家庭や学校通学時等での予測と対応、そして訓練だと思います。

「自助」 自分の身を自分で守るためには、基盤となる知識や技能を習得し、災害を自分のこととして捉え、備えることが重要です。一番のリスクは、「自分は大丈夫」と思い込んでいることです。全く被害がないと思えば、何もする必要はありません。「起こる可能性があると考えることによって」備えが始まります。  
災害の発生時には、状況を見て身の守り方を判断し、次々に安全な場所や行動をとることが重要です。  
道志小中でも、立地場所や生徒の発達段階を考え、様々な場面や時間帯を想定した実践的な訓練をしていきたいと考えています。

「共助」 自分の命を確保出来たら、誰かを助ける行動を取ることも重要です。東日本大震災では、「釜石の軌跡」と言われるように、学校にいた生徒は犠牲にならず、保育園生やお年寄りを率先して避難させたり、救助したことも報道されました。

「公助」 「釜石の軌跡」の反対に、「大川小学校」では多くの教職員と児童の命が奪われたことも現実です。教職員として、地域と連携しながら生徒・児童の命をより良く判断し徹底して守れるように備えたいと思います。

NHK総合テレビ(全国放送)で2012年の本校の防災訓練の様子が報道されます

2023年9月10日(日)10:05~10:50分放送

30年以内に高い確率で「首都直下地震や南海トラフ地震」、広域化、激甚化する豪雨災害。猛威を振るう巨大台風・・・大規模災害から身を守るために「私たちはどう備えれば良いのか」を考えるための防災情報としての番組です。当時杉本も勤務し、県の防災指定校でした。

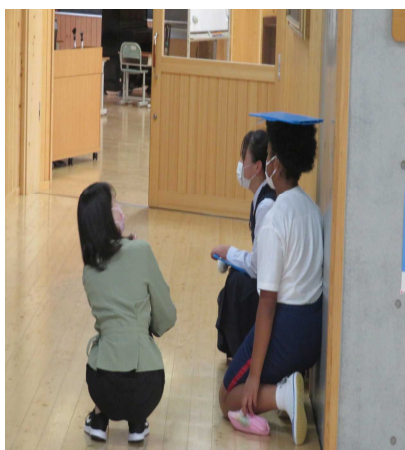
## 昨年9月の本校の防災訓練の学校だよりの文章

地震から身を守るにも、知識や技能が必要であり、それを思考・判断しながら適切に避難することが大切です。蛍光灯、エアコン、コンクリート等、天井に落下物があるか、また、窓ガラスや階段でのけがに備えたり、トイレに閉じ込められる可能性もあります。今回の**避難で迷ったこと**にしっかりと対応して、**危険から身を守ることができる**ようにしていきましょう。確率的には、**学校以外の場所にいる時間に災害が発生**することが予想されます。登下校や家庭にいる場合も対策しましょう。

昼食後の日常風景



地震発生一次避難



2次避難の様子



### 1 地震は必ず起こる

関東大震災や阪神淡路大震災、東日本大震災等の災害を想定して備えることが大切です。

### 2 自分の命は自分で守る(自助)

①想定にとらわれない ※ ハザードマップも人間が作成したものです。

②最善を尽くす ※ それぞれの場面で最善をつくり、2次・3次避難行動を繰り返す。

### 3 人の命を守れる人間になる(共助)

③率先避難者であれ ※ 一番最初に避難するには勇気がいる。

④心肺蘇生を一人で出来るようにする ※ 実際に一人でできるように繰り返す。

⑤総合的な学習の時間のテーマとして救命措置について考える ※道志村での対応を考える

### 4 判断に迷い、改善すべき事項が多く出る避難訓練をしています。

○課題点が多く出るように、本番と同じように訓練することが大切。迷いを今後追求しましょう。

### 5 市川先生の判断・行動から学ぶ

生徒2名に内緒で依頼し、トイレと更衣室にそれぞれ隠れてもらいました。避難場所に集合した後、不明の生徒を捜索する予定でしたが、**市川先生**が2Fで自ら捜索して避難させてくれました。**自分の身を守りながら、人を救助することを見事に実践**してくれました。

天災

東日本大震災  
約2万名の死者



戦争・人災

甲府空襲  
1127名の死者





学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する小・中・行政連携」

## 児童・生徒の登下校の安全を守るための活動を行いました

8月30日(水)の午後から、やまゆりセンターで「令和5年度 道志村小・中学校児童生徒登下校時の見守り活動」について会議・実践活動を行いました。

会議では、児童・生徒の登下校の見守りの基本に関する研修・R4年度の反省・R5年度の事業計画等を協議しました。

その後、バス降車の時間に合わせて、①白井平、②下善之木、③中山、④やまゆりセンター、⑤郵便局前、⑥中学校体育館前等に分かれて見守り活動をしました。

佐藤健太郎さん・山本学会長・佐藤小学校校長・杉本の4名は、体育館前から「岩瀬」方面の小学生と一緒に歩き、危険箇所を確認しながら見守り活動をしました。

児童・生徒の安全確保のために、このような組織で連携し、年間3回活動する予定を立てています。毎日の保護者の方々のバス乗車の見送り・お迎えはとても重要な安全確保の活動です。是非、今後も継続して頂きますようお願い致します。

その半面、児童・生徒が「自ら危険を予測し、主体的に危険を回避する能力の育成」には課題があります。見守りには限界があり、最後は児童・生徒自身の「危険回避」能力の向上が重要です。学校教育とともに各家庭、地域でもご指導をお願い致します。

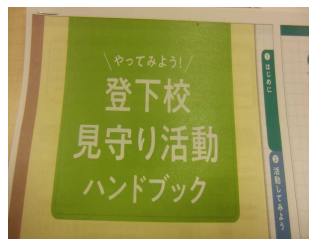
### 道志村小・中学校児童生徒登下校時の見守り活動」の参加者

- |                 |                     |              |
|-----------------|---------------------|--------------|
| ・教育長 佐藤文泰さん     | ・スクールガードリーダー 佐藤茂雄さん |              |
| ・事務局 山口登美さん     | ・渡辺遼太郎さん            |              |
| ・教育委員 山口孝俊さん    | ・教育委員 村田幸家さん        | ・教育委員 加藤千嘉さん |
| ・教育委員 佐藤健太郎さん   | ・大月警察署 道志駐在所 深澤建己さん |              |
| ・道志小PTA会長 水越勉さん | ・道志小校長 佐藤龍文さん       |              |
| ・道志中PTA会長 山本学さ  | ・道志中校長 杉本賢二         |              |

見守り隊のビブス



研修の冊子



教委 事務局



小学校の先生方の見送り



### 佐藤健太郎さん・山本PTA会長・佐藤小学校校長と岩瀬地区の児童の見守り活動



